

# 座 り方と礼 の誕生

～東アジアにおける  
身体技法の歴史人類学～

日時

2017. **5.26** (金) 15:00 ~ 16:20

入場無料・要事前申込

会場：東北大学東京分室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1 丁目 7 番 12 号サピアタワー 10 階  
Tel. 03-3218-9612

講師

西澤治彦 氏

(武蔵大学人文学部教授)



古代中国におけるさまざまな座法の中で、跪く姿勢から「拜」という礼が生まれる。中国で生まれた儒教の礼の本質は、身体論的にはこの「跪」と「拜」に収斂されるともいえる。しかしながら中国では宋代以降、椅子座の生活へと移行し、平座の文化が失われていく。これに伴い礼も変質していくが、日本は平座の習慣を維持しているが故に、礼を維持しているといえる。東アジア世界における座法と礼の変遷について、文献資料と図像資料を交えながら分りやすく解説し、現代の日本人にとって平座の意義を考える。

【北京風俗 図譜】より

※聴講ご希望の方は、お名前・連絡先・勤務先を下記までお知らせください。(東北大学東北アジア研究センター内 コラボレーションオフィス)

Tel. 022-795-3619 または E-mail: colab@cneas.tohoku.ac.jp

●主催/東北大学東北アジア研究センター ●共催/東北アジア学術交流懇話会



←こちらのQRコードより  
メールフォームへアクセスできます。

〆切 5/19 (金)